



伊那市議会6月定例会では11議案と請願・陳情6件、委員会提出議案3件、議員提出議案1件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案等を紹介いたします。

全会一致で可決等された議案等

(一般案件)

- ◆市道路線の認定
- ◆市道路線の変更及び認定
- ◆市道路線の変更及び認定
- ◆市道路線の廃止及び変更
- ◆財産(土地)の処分
- (小黒原産業適地産業用地の売却)

(条例案件)

- ◆伊那市固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例
- (行政手続における押印の見直し)
- ◆伊那市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- (伊那市上下水道事業基本計画の見直しに伴う改正)

- ◆伊那市下水道条例等の一部を改正する条例
- (特例措置の失効に伴う改正)

- ◆伊那市個人情報保護条例等の一部を改正する条例
- (関係法律の施行に伴う改正)

(予算案件)

- ◆令和3年度伊那市一般会計第3回補正予算

- ◆令和3年度伊那市一般会計第4回補正予算

(請願・陳情)

- ◆「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書」採択を求める請願

- ◆「伊那市再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドライン」を検討し強化を求める陳情

- ◆保育園借地料減免に関する陳情
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種予約の苦情について(陳情)

(委員会提出議案)

- ◆伊那市議会会議規則の一部を改正する規則
- ◆伊那市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ◆伊那市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例

(議員提出議案)

- ◆さらなる少人数学級推進と教育予算の増額及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について

賛否の分かれた議案等(審議結果と各議員の賛否一覧) 【請願・陳情】委員会結果に賛成…○ 反対…×
なお、原則として議長は採決に加わりません。

区分	件名	委員会結果	池上直彦	小林眞由美	田畑正敏	馬場毅	原一馬	松澤嘉	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	唐澤稔	宮島良夫	飯島光豊	黒河内浩	柴満喜夫	前田久子	柳川広美	飯島尚幸	飯島進(議長)	本会議結果
請願・陳情	消費税率5%への引き下げを求める陳情	不採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	不採択
	消費税の適格請求書(インボイス)等保存方式導入中止を求める陳情	不採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	不採択

6月定例市議会

一般質問から

伊那市議会6月定例会の一般質問は、6月15日、16日、17日の3日間にわたって行われ、18人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

柳川 広美



新型コロナ禍の学童クラブの運営について

問

柳川 広美議員

コロナ収束までは1人2・5㎡は確保を。伊那東小は市の基準1・65㎡以下ではないか。

答

教育長

国の基準に沿って面積当たりの定員を設定している。児童の利用時間がずれることから、基準を超えている状況はない。伊那東小は、利用人数の多い日は校庭や校舎を借りている。今後の施設整備については、慎重に検討する。

介護保険制度・国民健康保険制度・高齢者福祉制度について

問

柳川 広美議員

①介護保険の住宅改修補助に

ついて受領委任払いを可能に。
②国保税の引き下げを。収入減や失業による国保税や一部負担金の減免制度の周知を。
③いきいき健康券をスポーツ用品や食事券などに使えないか。

答

市長

②コロナの影響で

税収が減少したが、状況的に加入者の負担増は難しいと判断し、一般会計からの繰入れ等により、税率据置とした。国保税や一部負担金の減免制度は周知したい。③難しい。保健福祉部長 ①登録業者が必要であるが、今後選択肢の一つとして検討する。

宮島 良夫



伊那市の防災対策について

問

宮島 良夫議員

伊那市

で豪雨災害などが起きた時の避難に関して、住民への周知について伊那市としてのどのように考えているのか。

答

市長

地区の防災計画、

住民支え合いマップなど地域全体で安全を確保するための方法を考える地域が増えている。地域全体で守る地域をさらに増やして行きたい。さらにおでかけ講座などで周知に取り組んでいきたい。

問

宮島 良夫議員

伊那市

は、ため池の安全について調査しているか。

答

農林部長

重点ため池

を27規定してある。今回、西箕輪地区の使用していないため池を埋め立てて防災上の安全を図っていききたい。

会計年度任用職員制度の適正な運用について

問

宮島 良夫議員

2020

年度から始まった制度について、伊那市では同一労働同一賃金の趣旨が生かされているのか。

答

市長

伊那市では、現

在、会計年度1種職員には2・6か月、II種職員には2・3か月の期末手当が支払われている。退職手当については、パートタイム職員には支給されないため、伊那市には退職金を支給する職員はいない。また、休暇制度については、国の制度より優遇された制度になっている。

野口 輝雄



市民と共に進めるカーボンニュートラルに向けての提案

野口 輝雄議員

市民と

共に進めるカーボンニュートラルについて以下の提案をする。①市民ができる取組を具体的に示したらどうか。②防犯灯のLED化の促進を望む。③低二酸化炭素排出車の

利用者に優遇措置ができないか。④各家庭のLED化に補助金制度の設立を望む。

答

市長

①事業者や市民

に具体的な取組を示す行動計画を策定中であり、策定後は可視化をして市民に情報を提供する。②スピード感を持ってLED化する。これまでに大幅に増額をできており、再度の増額についても、前向きに検討する。③何らかの優遇措置がとれないか検討をする。④補助金制度について、エコポイント制度の枠組みの中で検討をしていく。

保育士、放課後学童クラブの指導員、教員のコロナワクチンの優先接種と第3弾プレミアム商品券の発行について

問

野口 輝雄議員

多くの

子ども達と毎日接している保育士、学童クラブの指導員、教員のコロナワクチンの優先接種を早急にお願したい(要望)。また第3弾のプレミアム商品券の発行を望む。

答

市長

第3弾のプレミア

ム商品券は、ワクチン接種や感染の収束状況を見極めて発行していく。

松澤 嘉



再犯防止推進計画について

問 松澤嘉議員 この件に関

しては「再犯の防止等の推進に関する法律」により令和4年度中に各市町村での策定が努力義務として課せられている。現在当市での策定の進捗状況はどうか。

答 市長 先行する市町村を参考に、他の計画と一体として、令和6年度からの第4次地域推進計画に盛り込む形で再犯防止計画を策定したい。11月に美鷲公民館で松本刑務所主催の矯正展を開催することとしている。受刑者の社会復帰に向けた取組を市民に広く知ってもらう機会としたい。

児童相談所の上伊那地区への新設について

問 松澤嘉議員 伊那市を

担当する諏訪児童相談所の守備範囲はかなり広く当市の人が相談に行くには遠い。上伊那地区に児童相談所の設

置の声は他の市町村からもある。何回か設置要望がされているが進捗状況はどうか。

答 市長 教育7団体や他の市町村からも上伊那地区への設置要望は多い。国において、改正児童福祉法など

の市町村から上伊那地区への設置要望は多い。国において、改正児童福祉法など一部の施行に向けて児相の設置基準の策定が進められている。パブリックコメントに人口基準ではなく、地勢上の特性や文化圏、生活圏を重視したものとなるよう広域連合長としての意見を提出した。今後、国から都道府県に設置基準が示され、県の見直し作業が本格化する。効果的な時機を捉えて再度強く要望したい。

飯島尚幸



地元産木材の供給強化について

問 飯島尚幸議員 市の50

年の森林(もり)ビジョンのキーワードは「市民参加」。伊那市林業成長産業化地域創出モデル事業は、個人所有林にも光が当たる画期的事業。進

捗状況は。

答 市長 2018年度に伊那市を含む全国12地域が選定された。国から毎年ハード事業で1億円、ソフト事業で1千万円の支援を5年間受ける。西春近団地など5か所をモデル団地に指定し、森林経営管理について個人所有者への意向調査を行いながら森林の資源分析、境界の明確化などを実施し、利活用を図っていく。

伊那図書館等の充実について

問 飯島尚幸議員 ①伊那

図書館トイレは洋式が少なく、利用空間が狭い。②雑誌スポンサー制度は3社の協力が5年間続いているが更に充実を望む。③蔵書の貸出し返却に対し除菌機の導入は。④西春近公民館図書室の運営方針は。

答 市長 ①改修計画を前倒しして進める。②感謝の気持ちを表すことや、制度の充実について教育委員会と検討する。

教育長 ④書架には9千冊の収容を予定。司書の配置等を含め地域の実情を見ながら検

討する。

教育次長 ③各地の状況を参考にして慎重に検討する。

柴満喜夫



モバイルクリニック実証事業による新型ワクチン接種、移動困難者への支援について

問 柴満喜夫議員 モバイル

クリニック事業を活用して訪問接種ができないか。移動困難者等への支援は。

答 市長 市としても検討した経過があるが、保健所などに確認した結果、予診を遠隔で行うことへの懸念や接種後にアナフィラキシーショックが発生したときに、医師が不在であることは不適切であるとの見解から、困難と判断した。移動困難者への支援策としては、75歳以上の高齢者へいきいき健康券を追加交付し、タクシーなどでの移動に使っていた

だ。かかりつけ医での個別接種や訪問接種も行っており、相談してほしい。

二瓶裕史



中間教室の今後の展開について

問 二瓶裕史議員 ①不登

校児童生徒に対する考えは。②分室配置を拡大する考えは。③市長の子ども支援策の考えは。

答 教育長 ①社会的な自立につながるよう、一人ひとりに心を寄せた支援を大事に考えている。②今後の通室児童生徒の人数により検討する。

市長 ③一人でも多く、少しでも早く対応したい。こども食堂等でまず食えることへの不安を解消し、不登校児童生徒へは中間教室等で場を提供していく。

より利用しやすい「イーナちゃんバス」を

問 二瓶裕史議員 ①学割の導

入を。②定期券の導入を。

答 市長 ①必要に応じて検討したい。②同一区間

同一運賃のルールがある中で

1500円と調整してきた。現時点では難しい。③導入に向けて研究したい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 二瓶裕史議員 国からの一方的な期限の押し付け等は、自治体や自治体職員に大きなしわ寄せが来る。国と地方の在り方としても健全ではないと考えるが。

答 市長 国等から圧力を受けたという感じはないが、一刻も早く完了したい思いはある。早期完了に向け、医師会や中央病院等に協力していただき、感謝申し上げる。

前田久子



災害時住民支え合いマップの電子化と、防災対策について

問 前田久子議員 ①災害時の逃げ遅れ防止策として要配慮者への安否確認や迅速な避難行動を目的に「住民支え合いマップ」が、各区に作成されつつあるが、毎年の見直し、維持管理等大変な作業となる。支え合いマップの電子化はできないか。災害時、要支援者を地図、ハザードマップ上で即座に把握できるシステムで、各区役員の負担軽減になるが、②要支援者が円滑に避難するため、避難方法や避難先、手助けする人を明記する「個別避難計画」策定を。③災害時、在宅で人工呼吸器やたん吸入器、体温調節のエアコンマット等、医療機器使用の場合、長時間停電は命にかかわる。非常用電源設備の購入に補助を。④各地区の避難訓練に、災害弱者対応の実践を呼びかけては。⑤浸水指定区域、土砂災害警戒区域内の避難所の見直しが必要。

答 市長 ①マップの電子化は負担軽減が見込まれる有効と考えるが、国の財政支援が必要である。②要支援者の絞り込みを行い、関係機関や地域と協力して、危険度の高い地域から実効性のある計画を検討する。③非常用電源が必要な方の把握をして補助を検討する。個別支援会議で災害時の一時的な居場所等、今以上に綿密に支援を考える。

④要配慮者に主眼を置いた訓練を投げかけてみたい。⑤公民館は一時的な避難場所であり、親戚や知人宅、車両での避難などの分散避難も呼びかける。

宮原英幸



カーボンニュートラル宣言に関連する環境施策について

問 宮原英幸議員 今年3月の宣言発出意図は。

答 市長 市は、県の宣言前から50年の森林(もり)ビジョンや伊那から減らそうCO2を策定し二酸化炭素排出抑制に取り組んできた。目標値を上方修正し実効性のある行動に移す決意である。

問 宮原英幸議員 食品ロス削減の強化、市組織の明確化が必要ではないか。

答 市長 食品ロス削減は環境基本計画の重点プロジェクトの一つ。更に活動を推進し、専門的組織は状況により検討したい。

問 宮原英幸議員 太陽光発電の二酸化炭素抑制

答 市長 期待は大きいですが、トラブルが多発している。現ガイドライン強化が必要と考えるがいかがか。
答 市長 太陽光発電に関するトラブルが絶えない。条例で規定をするべき時期が来ている。

50年の森林(もり)ビジョンの推進について

問 宮原英幸議員 当初計画の見直し状況は。

答 市長 5年経過し、計画117項目の約70%に着手、今回見直しで75項目に集約した。

問 宮原英幸議員 林地化した遊休荒廃農地利用も計画に入れてはどうか。

答 市長 当該地はコスト的にも有利で、エリートツリーは興味深い。

問 宮原英幸議員 路網・製材・乾燥等の強化、デザインを加えた取組が必要では。

答 市長 地域材の付加価値にデザインは不可欠。職員や業者のスキルアップにも尽力する。

三澤俊明



空飛ぶクルマについて

問 三澤俊明議員 「空飛ぶクルマ」(有人ドローン機)が実用化された際には、伊那市としてどのような利用方法が考えられるか。

答 市長 伊那市では垂直離着陸機「VTOL」(無人大型ドローン機)で100kgの重さの荷物を100km以上飛ばせる機体を使い、3000m級の山小屋への荷物の運搬、林業の資材の運搬などに利用したい。

問 三澤俊明議員 有人実証試験への取組は考えているか。

答 市長 伊那市では「VTOL」を活用し、山小屋への物資の運搬を安全に行える事を目指しているため、まずはその取組を進めていきたい。

お墓と寺院と交流人口について

問 三澤俊明議員 伊那市営霊園の合葬式埋葬墓

地がいっぱいになってしまったらどうするのか。

答 市民生活部長 現在のペースだと6年ほどで定員となる。隣接の用地を使うなど対応方法を考えていく。

問 三澤俊明議員 折りからの「御朱印」ブームを観光として利用するために、寺院マップを作製したらどうか。

答 市長 簡単ではないと思うが、寺院にある高遠石工の石仏を全国に発信するためにも、御朱印を含め、さらなる魅力発信に努めていく。



馬場 毅

コロナ不況を突破するための市内業者支援策について

問 馬場毅議員 今議会に提案されたコロナ関連の補正予算には、業者への支援策がない。いまだ苦境にある市内事業所に、今後のコロナ対策を何か考えているか。

答 市長 本年度当初予算では第3波の影響が特に大きかった事業者が事業継続

の支援を実施している。事業者の苦しい状況は承知している。今後も国や県の施策と共に、必要に応じて必要な支援を行っていく。

問 馬場毅議員 1年以上続くコロナ不況への対応は、もはや地方自治体で賄える規模ではない。コロナの影響を受けて苦しんでいる業者や市民への、要件を付けない給付金の実施を国と県に求めるべきではないか。

答 市長 業者または市民に対する地域・所得等の要件を伴わない給付金については、経済的状況のほか、ワクチン接種の進捗状況、感染状況等を踏まえて、国や県に対して適切な時期に適切な施策を実施するよう必要に応じて求めていく。

問 核兵器のない平和で公正な世界のために

問 馬場毅議員 核兵器禁止条約発効という歴史的な情勢をどう捉えているか。

答 市長 条約の発効は、核兵器のない平和な社会の実現に向けて大きな一歩である。今後も国際情勢、国の動向

等を見極めながら平和行政は引き続き進めていく。

問 空家等対策計画の進捗状況と今後の対応について

問 白鳥敏明議員 空家等対策計画の進捗状況と、今後の計画は。

答 市長 空き家所有者アンケート調査を行い、空き家の利活用や適正管理について意識付けを行った。今後は未回答者への空き家パンフレットの送付や、危険な空き家は優先的に専門家の力を借り所有者特定活動を実施する。

問 白鳥敏明議員 空き家バンク制度への登録状況と、制度の周知方法は。

答 市長 空き家バンク制度の登録・成約は増加している。

問 建設部長 制度案内は空き家アンケート調査時に同封、家屋敷課税通知に空き家バンク制度や、空き家総合相談会の案内を同封し広く周知している。



問 白鳥敏明議員 特定空家指定への今後のスケジュールは。

答 市長 今年度は空き家対策総合支援事業を活用し、候補を10件程に絞り込み、専門家のアドバイスを踏まえ詳細調査を行っていく。

問 白鳥敏明議員 過疎地域及び田舎暮らしモデル地域限定の廃屋取壊し事業補助金を市全域に拡大を。また、空き家バンク制度の創設検討を。

答 市長 政策的に人口減少が著しい過疎地域、田舎暮らしモデル地域で実施している。市全域への拡大については空家等対策協議会の意見も聞きながら検討していきたい。空き地バンク制度は先進地での取組もあるが、事例が少なく効果検証が明確でない。今後の動向と不動産組合の意見を聞きながら検討していきたい。

問 唐澤千明

問 伊那インター工業団地の発展から生じる交通問題について

答 市長 ①計画書の内容と違う工事が行われた

問 唐澤千明議員 ①西箕輪中条地区の太陽光発電所建設で、工事着工届を提出せず着手したこと、変更に対して地元への報告無く工事が進められたことについて、発電設備の撤去を求めることはできるか。②今後ガイドライン対象外物件でも市が強く関与していただきたいが。

問 太陽光発電所の建設に伴う問題点について

答 市長 ①計画書の内容と違う工事が行われた

問 唐澤千明議員 伊那インター工業団地の企業数が増加するに伴い、周辺道路で長いこと渋滞が発生し、脇道を使って住宅密集の狭い道を通る人が少なくない。現状把握の上、文書での注意喚起を求めたいが。

答 市長 県道の大萱差差路の区間で通勤時間帯に混雑している。生活道路の通行は以前から自粛するよう企業連絡会や地元3区との合同会議で地元の声として届けている。文書での呼びかけもはっきり行っていく。



伊那インター工業団地の発展から生じる交通問題について

問 唐澤千明議員 伊那インター工業団地の企業数が増加するに伴い、周辺道路で長いこと渋滞が発生し、脇道を使って住宅密集の狭い道を通る人が少なくない。現状把握の上、文書での注意喚起を求めたいが。

答 市長 県道の大萱差差路の区間で通勤時間帯に混雑している。生活道路の通行は以前から自粛するよう企業連絡会や地元3区との合同会議で地元の声として届けている。文書での呼びかけもはっきり行っていく。

問 太陽光発電所の建設に伴う問題点について

答 市長 ①計画書の内容と違う工事が行われた

問 唐澤千明議員 ①西箕輪中条地区の太陽光発電所建設で、工事着工届を提出せず着手したこと、変更に対して地元への報告無く工事が進められたことについて、発電設備の撤去を求めることはできるか。②今後ガイドライン対象外物件でも市が強く関与していただきたいが。

答 市長 ①計画書の内容と違う工事が行われた

問 唐澤千明議員 伊那インター工業団地の企業数が増加するに伴い、周辺道路で長いこと渋滞が発生し、脇道を使って住宅密集の狭い道を通る人が少なくない。現状把握の上、文書での注意喚起を求めたいが。

答 市長 県道の大萱差差路の区間で通勤時間帯に混雑している。生活道路の通行は以前から自粛するよう企業連絡会や地元3区との合同会議で地元の声として届けている。文書での呼びかけもはっきり行っていく。

問 太陽光発電所の建設に伴う問題点について

答 市長 ①計画書の内容と違う工事が行われた

問 唐澤千明議員 伊那インター工業団地の企業数が増加するに伴い、周辺道路で長いこと渋滞が発生し、脇道を使って住宅密集の狭い道を通る人が少なくない。現状把握の上、文書での注意喚起を求めたいが。

答 市長 県道の大萱差差路の区間で通勤時間帯に混雑している。生活道路の通行は以前から自粛するよう企業連絡会や地元3区との合同会議で地元の声として届けている。文書での呼びかけもはっきり行っていく。

問 太陽光発電所の建設に伴う問題点について

答 市長 ①計画書の内容と違う工事が行われた

場合、発電設備の撤去を求め
ることは可能だが、ガイドライ
ン違反を根拠とした行政指導
処分のような強制力はない。②
対象外でも問題の発生が予見
される場合は個々のケースに応
じた問題解決に取り組んでい
く。ここまでトラブルが増える
と条例化も視野に考えていき
たい。

黒河内 浩



南アルプスジオパークへの 対応策について

問 黒河内浩議員 南アジオ
パークの認定継続が厳
しい状況となっているが、今後
も継続できるよう対策を練る
べきと考えるが、どう対応す
るか。

答 市長 「条件付き再認
定」となり、その条件か
らして厳しい立場に立たされて
いる。しかし、やめることあり
きではない。認定継続の可否を
含めて今後検討していく。

高校再編への対応策について

問 黒河内浩議員 高校再
編への取組が進む中で
伊那市としての考えや取組
は。

答 市長 少子化が進む中
で一定程度の規模を持つた
都市部存立高が必要であ
り、伊那北高校と弥生ヶ丘高
校の統合はやむを得ないもの
と考える。総合技術新校は、周
辺施設の状態からも上農高校
に集約することが考えられる。

長谷循環バスの運行について

問 黒河内浩議員 ぐるっと
タクシーは評価できる
が、長谷循環バスの運行が極端
に少なくなった。見直しを。

答 市長 乗客数や費用対
効果を考えると長谷循
環バスの運行縮小はやむを得
ない。

飯島光豊



伊那市のワクチン接種目標 コロナ封じ込め戦略について

問 飯島光豊議員 ①ワクチ
ンの予約で混乱があっ
た。市による意向調査と予約
調整を。②ワクチン供給と接種
の見通しは。

答 市長 ①最初の電話予
約受付では、市民の皆様
に迷惑をお掛けした。②市が希
望するワクチン量が供給され
れば、高齢者は概ね7月中、全
対象市民は11月中旬に接種が完
了する見込み。
保健福祉部長 ①意向調査は
事務的に困難。今後は混乱が
ないようにしたい。

災害対策基本法改正と 市の防災対策について

問 飯島光豊議員 ①(株)キッ
ツ様と市は避難所協定
を調印したが、車等での避難
訓練は。②車中避難場所拠点
として指定を。③春富の急傾
斜崩落防止の施工は。④西春
近を含む東春近田原の水害回
避のために河床浚渫や樹木除
去を。

答 市長 ①高台への車両避
難訓練は地域で工夫し
て欲しい。④例年になく国土強
靱化予算5年間15兆円等が示
されており、樹木除去・浚渫を

国県に要望する。

危機管理監 ②協定の駐車場
は指定緊急避難場所である。今
後、地震や洪水に対応できる屋
外の指定避難場所を検討する。
建設部長 ③東春近下殿島大
沢川おおなぎ橋付近の崖は、伊
駒アルプスロードに合わせた改
修を期待している。

原一馬



ぐるっとタクシー、 事業継続性について

問 原一馬議員 人工知能
を活用した自動配車乗
合タクシー「ぐるっとタク
シー」は、重要な交通インフラ
になっている。現状と事業継続
性について。

答 市長 ぐるっとタクシー
は公共交通の位置付け
で、料金は現在、距離に関係な
く1回300円、障害者、運転
免許返納者は150円で運用
中。利用者が少ない公共交通
のバスから切り換えている。利
用者から便利だと好評をいた
だいている。今年の10月には伊

那市全域をカバーできる(市街
地以外)。市街地上段地区の運
行も考えていく。

企画部長 現在の対象エリア
で1523人(高齢者の17.
2%)が利用者登録している。
昨年4月から運行している竜
西地区の1年間の予約件数は
8252件、のべ8813人の
利用者数。最小の車両台数で
最大の運行効率を目指してい
て、交通体系を効率化、最適化
することで、持続可能な仕組み
ができた。

問 原一馬議員 国の補助
金、交付金を活用してい
る。事業費を含め将来的な事
業の継続性について。

答 企画部長 交通問題は、
極端な話をすれば、憲法
に定める生存権の保障、これを
担保する政策分野。国は高率
な80%の国庫の負担をしてい
る。時代の変遷でも国の責任は
存続される。タクシー会社のみ
なさんと膝をつき合わせて議
論を重ね、様々な改良もしてき
ている。事業への過重投資を避
け、市内交通事業者のみなさん
の通常営業との均衡と持続可
能性を大事にしながら運用を
図っていく。

田畑 正敏



成人式の開催方法について

問 田畑正敏議員 令和3年度の成人式開催はどのような形で行うのか。

答 教育次長 新型コロナウイルスの影響により昨年度開催できなかった成人式を今年度の伊那地域の成人式と合わせ8月14日、15日に実施する。地区により開催日は異なるが、午前中に2020年度、午後2021年度の成人式を行う。

問 田畑正敏議員 来年月より民法改正により成人年齢の18歳引き下げが決定しているが、成人式はどのタイミングで行うのか。

答 教育長 来年度の開催に向け、対象者が余裕を持つて対応できるように、伊那市としての考えをまとめたい。

仕事と子育ての両立支援施設
(旧富県南部保育園)設置計画について

問 田畑正敏議員 メインとなるコールセンター開設の事業者は決まっているのか。

答 市長 テレビ東京グループの「テレビ東京ダイレクト」が通信販売のコールセンターを開設する予定である。

問 田畑正敏議員 女性の活躍の場の具体的取組内容は。

答 市長 事業は「仕事と子育ての両立支援拠点施設」として位置付け、子育て世帯の女性の雇用確保を行う。建物内には託児所を設け「子どもの隣で仕事ができる環境」を実現する。



小林 眞由美

デジタルスキルアップの機会づくりについて

問 小林眞由美議員 社会のデジタル化が加速化する中、行政と民間企業、市民が協力し合って、誰もが安心して、スマホ、タブレット等の操作方法を学ぶ環境づくりを。

答 市長 各種手続きの電子化が加速し情報入手方法も変化する中で、ICT機器の活用に向けたおでかけ講座を用意し、市のホームページで案内している。今年度、第4次伊那市地域情報化計画の策定の際には企業、商工団体、NPOなど民間の力を借り、市内連携を行う中で、身近な「ICTに関する学びの機会」を検討したい。

問 小林眞由美議員 市民のデジタルスキルアップの在り方についての考えは。

答 市長 ICTを正しく使えるための情報リテラシー(膨大な情報の中から必要な情報を抜き出し、活用する能力)を身に付けることが大事であるため、自らが学習できる機会の創出と、それが難しい方のために、地域、企業、民間の力を借りて、サポートの体制づくりに努めたい。

【お知らせ】

請願・陳情

請願・陳情は、原則として、定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、委員会において審査を行います。その後、本会議で委員長報告後、採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月19日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しください

6月定例会市議会は、のべ122人の方が傍聴されました。

市議会は、どなたでもお気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください。

議会議中継

議会議中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていますのでぜひご覧ください。

チャンネルは

デジタル 11 チャンネル

または、STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は

デジタルC 511 チャンネル

QRコードのご案内

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

※「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

次回9月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」9月号をご覧ください。



伊那市議会にある6つの『会派』の紹介!

Q. 会派とは?

A. 市政に対して同じような考え方を持った議員同士の集まりで、2人以上の議員で構成され、「議会活動を共にしよう!」というグループのことです。



平成クラブ…7名

農林業・商工業の経験豊富な7人の侍グループです!!

原一馬議員 松澤嘉議員 唐澤稔議員 田畑正敏議員
宮原英幸議員 柴満喜夫議員 白鳥敏明議員



令和クラブ…4名

輝く令和のころ

池上直彦議員 三澤俊明議員 野口輝雄議員 小林真由美議員



日本共産党…3名

身近な相談相手 市民と共に

飯島光豊議員 柳川広美議員 馬場毅議員



新風会…3名

大好きな伊那市のために常に是々非々で

宮島良夫議員 飯島進議員 二瓶裕史議員



公明党…2名

郷土愛の声を“カタチ”に! 希望の未来へ行動一直線!

前田久子議員 飯島尚幸議員



新政クラブ…2名

市民の声を聞き、信頼され開かれた議会を目指します

黒河内浩議員 唐澤千明議員

第6回 市民と議会との意見交換会開催!

～あなたの意見が伊那市を元気にする!～

伊那市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して「第6回市民と議会との意見交換会」を行います。

8月10日、12日と市内6会場、共通テーマと各会場ごとのテーマを設けます。

大勢の皆さんのご参加をお待ちしております!!
事前の申し込みは不要です。



令和元年度の様子



～共通テーマ～ 「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」

8月10日(火曜日)

【各会場テーマ】

- ◆伊那公民館「地域住民とのつながり」
- ◆美篤公民館「防災対策について」
- ◆高遠町総合福祉センターやますそ「通年観光を考える」

8月12日(木曜日)

【各会場テーマ】

- ◆西春近公民館「地域住民とのつながり」
- ◆伊那西小学校「人口減少時代と地域の活性化について」
- ◆伊那公民館「国道153号バイパス開通後の地域づくりについて」

どの会場も、グループになって懇談するワークショップ形式で行います。

受付 午後6時30分から **開始** 午後7時から(午後9時終了予定)

託児を希望の方は、開催日の1週間前までに議会事務局にご連絡ください。

お問い合わせ：伊那市議会事務局 **TEL.0265-78-4111** (内線 2811～2813)



新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しています!

- マスクの着用
- 受付での検温とアルコール消毒
- 体調の悪い方は参加を控える御協力をお願いします。

⚠️ 以下の場合には開催を中止します ⚠️

7月9日(金)の時点で次の基準のいずれかに該当した時には、中止とします。

①県の新型コロナウイルス感染警戒レベルが4以上 **②県の医療警報が発出**

- 2週間後に再度同様の判断を行います。
- その後実施日(8月10日または8月12日)の前日までの間に、上記の基準のいずれかに該当した場合には中止とします。

主催：伊那市議会